

埼玉大学紀要

(教育学部)

第 57 卷 第 1 号

目 次

教育科学

- 生活科におけるフィールドワーク授業の評価・検討の試み
—子どもたちの行動・発話の分析を通して—
..... 坂田尚子・高垣マユミ・清水 誠 1
- 教員養成大学・学部における絵画教育内容の構造化についての研究 I
—現行のシラバス分析による現状考察と今後の課題—
..... 小澤基弘 7
- 自然体験スクールが小中学生の「生きる力」に及ぼす影響
..... 野沢 巖・駒崎弘匡・上園竜之介・河野裕一 25
- 少年柔道の指導法及び普及に関する実践的研究 —「さいたま KIDS 柔道」を通して—
..... 野瀬英豪・野瀬清喜・板垣耕太・金丸雄介 39
- 男子中学生の疾走能力に関する縦断的分析
..... 有川秀之・太田 涼・石川泰成・椿 智絵・八坂和典 51
- 授業リフレクションによるボール運動の学習形態に関する一考察
～高学年におけるバスケットボール・サッカーの授業実践から～
..... 大塚雅之・鈴木直樹 61
- 運動の集団化におけるワークショップ形式の授業に関する研究
～新体操教材の開発に視点をあてて～
..... 松本大輔・鈴木直樹・塩澤榮一・細川江利子 75
- 学校グラウンドへの芝生導入に関する再検討..... 菊原伸郎・鈴木直樹 87
- 調理実習の歴史的変遷における実用性 —戦前の高等女学校家事科教育を対象として—
..... 河村美穂 99
- 高校生のキャリア形成支援に資する国語教育のあり方に関する研究
—キャリア教育に求められるコミュニケーション能力の国語科での育成方法の検討—
..... 林 一・野村泰朗 109
- オーストラリア連邦政府における障害児教育施策の登場
—ウィットラム労働党政権 (1972～1975年) の教育行政に着目して—..... 山中冴子 125

2008

埼玉大学教育学部

人文・社会科学

新概念 日本語教学法 第二部(2)	竹長吉正	135
運動機能に障害を有する女性の衣生活の現状と課題	川端博子	149
幼稚園教諭を対象にした保育現場における軽度発達障害の意識調査に関する研究	吉川はる奈・尾崎啓子・細渕富夫	159

本田貴侶教授 退職記念特集

本田貴侶先生から学ぶこと	稲葉喜徳	169
本田貴侶教授の人と業績	都築邦春	171
アカデミズムから環境へ、そして彫刻教育	本田貴侶	179
環境と彫刻	本田貴侶	197
知的障害をもった子どもの造形活動	榎原弘二郎	209
遊具・玩具とあそび	都築邦春	213
作品と画家の人間性の関係について	吉岡正人	217
美術の至福	横尾哲生	221
創造をどこまで科学すべきか? - 昨今の脳神経科学への疑念	小澤基弘	225
「合点が行く」瞬間	高須賀昌志	229

南北朝期における在地領主の結合形態

—越後國小泉莊加納方地頭色部一族—	清水 亮	—
-------------------------	------	---

数学・自然科学

移入超過程の漸近挙動について	道工 勇	233
C_f -空間に対する写像定理	木村 孝・孤田智恵子	241
簡易口臭測定器を活用した歯磨き指導	山本利一・山本 馨・矢嶋信一・荻窪光慈・米田奈々子	245

Journal of Saitama University
(Faculty of Education)
Vol. 57, No. 1 (2008)

— Contents —

Science of Education

- The study of class assesment and reflection on the fieldwork activities in Seikatsu-ka with analysing students' performances
..... Shoko SAKATA, Mayumi TAKAGAKI, Makoto SHIMIZU 1
- The study on the structure of the contents of painting education in the faculty of education of university I Motohiro KOZAWA 7
- The effects of outdoor schools on zest for living of early adolescents
..... Iwao NOZAWA, Hiromasa KOMAZAKI, Ryuunosuke KAMIZONO, Yuuichi KOUNO 25
- Research on coaching and spreding juvenile judo — Through "Saitama KIDS JUDO" project(program)—
..... Eigo NOSE, Seiki NOSE, Kota ITAGAKI, Yusuke KANAMARU 39
- A longitudinal study on development of sprinting performance for junior high school boys
..... Hideyuki ARIKAWA, Ryo OHTA, Yasunari ISHIKAWA, Tomoe TSUBAKI, Kazunari YASAKA 51
- A consideration for organizational framework of teaching in ball games classes by reflection
— Through classes of basketball and soccer for senior students at elementary school —
..... Masayuki OTSUKA, Naoki SUZUKI 61
- A study on workshop style classes in grouping physical activities — A focus on application of the rhythmic gymnastics to teaching materials —
..... Daisuke MATSUMOTO, Naoki SUZUKI, Eiichi SHIOZAWA, Eriko HOSOKAWA 75
- Reexamination about turfing school grounds Nobuo KIKUHARA, Naoki SUZUKI 87
- A Look at Historical Changes of Utility in Cooking Classes
— In Home Economics Education of the Prewar Girls' High School —
..... Miho KAWAMURA 99
- Study on the principle and the method of national language education that helps career education in senior high school — Proposal of the objectives and methods of promoting communication abilities related to career education in national language class —
..... Hajime HAYASHI, Tairo NOMURA 109
- The appearance of special education policy in Australia; focusing on the Whitlam Labor government 1972-1975
..... Saeko YAMANAKA 125

continued on inside back cover

The Humanities and Social Sciences

Foundation of Japanese language teaching, Part II	Yoshimasa TAKENAGA	135
Current situation and future assignment in clothing life of women with upper/lower limb disabilities	Hiroko KAWABATA	149
A study on concern about child care for kindergartener with developmental disability from questionnaires for their teachers	Haruna YOSHIKAWA, Keiko OZAKI, Tomio HOSOBUCHI	159
Commemoration issues for the retirement of Professor Takatomo HONDA	Takatomo HONDA, Kojiro ENOHARA, Kuniharu TUDUKI, Yoshinori INABA, Masato YOSHIOKA, Tetsuo YOKOO, Motohiro KOZAWA, Masashi TAKASUKA	169
Configuration of unity of feudal local lords during Nanboku-chō period	Ryo SHIMIZU	(1)

Mathematics and Natural Sciences

Sur certains comportements asymptotes des super-processus avec immigration	Isamu DŌKU	233
Mapping theorems for C_f -spaces	Takashi KIMURA, Chieko KOMODA	241
Toothbrushing instruction using breath checker	Toshikazu YAMAMOTO, Kaoru YAMAMOTO, Shinich YAZIMA, Koji OGIKUBO, Nanako YONEDA	245

埼玉大学紀要（教育学部）投稿規定

（名称及び発行）

- 第1条 埼玉大学紀要（教育学部）と称し、英語名をJournal of Saitama University (Faculty of Education) とする。
- 2 埼玉大学紀要（教育学部）(以下「紀要」と言う)は、埼玉大学教育学部教員（以下「本学部教員」と言う）等の学術研究成果を発表することを目的とし、年2回発行して2号分を以て1巻とする。

（投稿資格）

- 第2条 紀要へ投稿できる者は、原則として本学部教員とする。
- 2 共著の場合は、本学部教員が責任ある立場から研究を行い、執筆したものに限る。
- 3 教育学部研究支援委員会（以下「研究支援委員会」と言う）が必要と認めた場合は、本学部教員以外の投稿を許可することができる。

（論文の掲載の可否）

- 第3条 投稿原稿の内容は未発表のものに限る。
- 2 掲載の可否は、研究支援委員会が決定する。

（経費）

- 第4条 紀要出版に要する経費は、原則として研究支援委員会経費とする。
- 2 カラー印刷など特殊な印刷を要する場合、その印刷経費は原則として投稿者負担とする。
- 3 別刷の経費は投稿者負担とする。

（著作権等）

- 第5条 掲載論文に関する著作権は投稿者（著者）に帰属する。
- 2 本文の一部や図・表・写真等を他の著作物から転載したり、オリジナルを掲載したりする場合、著作権に関わる問題や法令上の手続きは、投稿者があらかじめ処理するものとする。それらについて問題が生じた場合は、その責は投稿者が負うものとする。
- 3 投稿者は、埼玉大学に対して、当該論文等の印刷、電子的記録媒体（CD-ROM、DVD-ROM等）への変換・複製、学内外への配布を原則として許諾するものとする。
- 4 投稿者は、埼玉大学及び埼玉大学が委託する機関等に対して、当該論文等の送信可能化・コンピュータネットワーク等での学内外への公開を原則として許諾するものとする。

附則

この規定は、平成18年6月30日から施行する。

埼玉大学紀要（教育学部）執筆規定

埼玉大学教育学部研究支援委員会

投稿者は「埼玉大学紀要（教育学部）投稿規定」およびこの「執筆規定」の各項に従い、原稿を作成されたい。

〔原稿の書式・執筆手段〕

原稿は、「和文横書き」「和文縦書き」「欧文横書き」のいずれでもよい。

原稿はワープロソフト等で作成し、A4判用紙（縦位置）を用い、40字×36行で用紙の片面のみにプリントアウトする（フォントサイズは10.5～11 pt）。和文原稿の場合、本文中の漢字・かな文字・記号は全角、数字・アルファベットは半角とする。なお、欧文原稿の場合はすべて半角文字で入力する。

〔原稿の長さ〕

1編の論文の長さは図表、Summary等を含めて刷り上がり16ページ以内とする。制限ページ数を超過した場合には、1印刷ページあたり¥5,000を投稿者が負担する。

[原稿の構成]

原稿は、表題、著者名、所属または住所、キーワード（5語以内）、本文、摘要等、文献の順にする。和文原稿の場合、最後に欧文タイトル、欧文著者名、summaryを加える。概要Abstractを入れる場合は、著者名とキーワードの間になる。

「注（註）」は本文の末尾（「文献」の前）に付ける。注は論文全体の通し番号とし、章ごとの番号付けとしない。書式は日本語・外国語を問わず横書きの場合、1) 2) 3) …のように、縦書きの場合、①②③…のようにする。なお、脚注は第1ページの所属（住所）だけ付けることができる。

文献の並べ方は、参考順・著者のアルファベット順など、何らかの明瞭な基準によるものとする。

[図表]

図（写真を含む）はすべて挿図 figure とし、そのまま印刷できるよう上質の白紙、方眼紙、トレーシングペーパー等に鮮明に描く。図は1枚ごとに厚手の台紙に貼って提出する。

表は別紙に印刷し、原稿末に付ける。それと同時に、FD等に保存する。作成には表計算ソフト（エクセルなど）を用いるのが好ましい。

図表類は、印刷ページ幅・段幅等を考慮して作成すること。

図表・写真類の挿入希望箇所は、本文原稿の欄外にわかりやすく鉛筆で指定すること。

図表のキャプション（説明）は別紙に印刷し、原稿末につける。原稿の本文中に図表をはめ込むことは厳禁。

[数式と活字型の指定]

数式は2行分以上の行を取り、文字の種類・大小・数字を明確に区別できるように記入する。特殊な活字（ゴシック体・イタリック体・スモールキャピタル・ギリシア文字・ロシア文字等）の指定は、指示を鉛筆書きする。その際、ゴシック体には波下線、イタリック体には下線、スモールキャピタルには二重下線を朱書きで指示をする。

[その他]

投稿者は、原稿のプリントアウトしたもの2通の他、原稿のファイル（文書ファイルおよびテキストファイル）を保存したFD、CD-R（W）、DVD-R（W）のいずれかを提出しなければならない。

投稿者は完成原稿を提出しなければならない。著者校正は初校のみで、その場合、誤植の訂正を超える大幅訂正や追加は許されない。大幅な訂正・追加をした場合には超過料金を徴収することになるが、場合によっては当該論文の掲載が次号となる。

(1987年9月29日 作成)

(1998年11月6日一次改訂)

(2006年6月30日二次改訂)

埼玉大学紀要教育学部 第57巻第1号（2008）研究支援委員会

竹長吉正（国語教育講座）・斉藤享治（社会科教育講座）

林 正美（理科教育講座）・重川純子（家政教育講座）

細川江利子（保健体育講座）・澤崎俊之（教育心理カウンセリング講座）

平成20年3月25日 印刷
平成20年3月31日 発行

編集兼 埼玉大学教育学部
発行 さいたま市桜区下大久保255番地
電話 048-858-3142

印刷 明誠企画株式会社
武蔵村山市榎2-25-5
電話 042-567-6233（代）

埼玉大学紀要（教育学部）掲載申込書

平成 年 月 日

教育学部研究支援委員会 御中

申請責任者 所属
 (本学部教員) 氏名 印

埼玉大学紀要（教育学部）投稿規定に基づき、下記の通り埼玉大学紀要（教育学部）への掲載を申請します。投稿者全員は、埼玉大学に対し、投稿論文等の印刷・電子的記録媒体への変換・複製、学内外への配布、コンピュータネットワーク等を通しての学内外への公開を許諾します。

記

題 目	和文	
	欧文	
投稿者 氏名 所属 (全員分)	和文	
	欧文	
別刷希望部数	部 (10部単位・別刷に要する経費は自己負担)	
特殊印刷等 (内容を記載)	<input type="checkbox"/> あり () <input type="checkbox"/> なし (特殊印刷等に要する経費は自己負担)	
掲載希望分野	1. 教育科学 2. 人文・社会科学 3. 数学・自然科学	
原稿媒体	媒体	1. FD・打ち出し原稿 2. CD-R(W)・打ち出し原稿 3. DVD-R(W)・打ち出し原稿 4. その他 ()
	OS	1. Windows 2. Mac 3. その他 ()
	文書形式	1. WORD 2. 一太郎 3. その他 () いずれの場合もテキストファイルを同一媒体中に保存し提出すること

[チェック]

- 著作権に関わる問題は処理済みである。
- 「埼玉大学紀要（教育学部）執筆規定」に従って執筆した。
- 本文の最初の頁に著者全員の「所属」を記載した。「題目」と「投稿者氏名」の和文と欧文を本文最終頁にも記載した。